

★“あなたの街のでんき屋さん”★
★パナソニックの店★

ふれあい ネット
PanaPress

バチツを防ぐ 冬の静電気対策

気温が下がり乾燥する冬。衣類を脱ぐとき、車に乗るときなど、静電気に悩まされていませんか？「バチツ」とくるイヤな感覚を防ぐための方法をご紹介します。

●静電気はなぜ起きる？

人やほとんどのものはプラスとマイナスの電気を持っていますが、摩擦などの運動によりバランスが崩れ、電氣的な極性が片寄ります。これが帯電状態です。プラス電気が多いときはマイナス電気を欲しがり、マイナス電気が多いときはマイナス電気を減らそうと働きます。よって、帯電しているもの同士が触れ合ったときにマイナス電気を移動させようとするため、静電気が発生するのです。



●衣類に気をつけよう

繊維には帯電しやすいものとしにくいものがあり、帯電しやすいものの中でもプラスに帯電しやすいものと、マイナスに帯電しやすいものがあります。たとえば、最近普段着によく用いられるフリース（ポリエステル）はウールセーターよりも、アクリルセーターと組み合わせたほうが静電気は起こりにくくなります。また、靴は底がゴムやプラスチックのものより、革素材のほうが、静電気が逃げやすくなります。重ね着をする際は、帯電しにくい素材、または性質の近いものを選ぶようにしましょう。

【繊維の帯電性質】

+		← 帯電しにくい →					-		
プラスに帯電しやすい							マイナスに帯電しやすい		
ウール	ナイロン	レーヨン	シルク	綿	麻	革	ポリエステル	アクリル	塩化ビニール

この性質が近いもの同士を組み合わせると、帯電しにくくなり、離れているものを組み合わせると、静電気が起きやすくなってしまいます。

●柔軟剤を使おう

柔軟剤には衣類の潤いを保ち、すべりをよくする成分があるので、洗濯時に使用することで静電気がおきにくくなります。静電気防止スプレーなども効果的です。

●湿度を上げよう

気温が下がり寒くなると空気は乾燥していきます。乾燥していると、静電気は体の中から外に出ることができません。湿度が50%以上になると、静電気が空気の中に逃げやすくなるため、帯電しにくくなります。夏場や梅雨時季に静電気に悩まされることがないのは、湿度が高いからです。冬でも湿度を保つと静電気は発生しにくくなります。室内の湿度を保つために加湿器を使ったり、洗濯物を室内干しましょう。濡らしたタオルを部屋の隅に干しておいたり、水槽や水栽培の植物を飾ってもよし。また指先にハンドクリームなどを塗って、手の乾燥を防ぐことも効果があります。



●静電気を予防するコツ

物や人に触れるときに、指先だけで触ると、大きな電気が小さな面積で流れて、「バチツ」というイヤな感覚を味わうことになります。ドアノブなど金属質のものに触るときは、指先ではなく、手のひらをペタッとつけるようにしましょう。また、車やドアのカギを持っているときは、カギの金属部分を持ちながら、カギの先を車体やドアに触れさせて、放電するようにしましょう。

nanoe(ナノイー)でお部屋と人にうるおいを

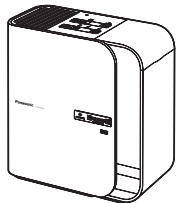
ハイブリッド(加熱気化)式加湿機(FE-KXD05)

●「nanoe(ナノイー)」が進化、うるおい美肌へ

●カンタンお手入れでキレイをキープ

当店価格

23,300円



あなたの街の電気屋さん

東京電力委託工事店

インターネット支店 SHOP

いどばたかいぎ

お問い合わせはお気軽に
フリーダイヤル イクイチバン ハヤサ

0120-191-883